

総合ネットセキュリティ企業 イー・ガーディアン

生成 AI 時代の誹謗中傷・なりすまし・誤情報に、AI 戦略で対応**～注力領域を IP・芸能・メーカーに設定。25 年の監視知見×AI による 5 つのソリューションを 10 月より順次提供～**

イー・ガーディアン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：高谷 康久、以下「イー・ガーディアン」）は、生成 AI と SNS の普及によって深刻化する、著名人へのなりすましや誹謗中傷、キャラクターの無断生成・悪用、誤った商品情報の拡散といった社会課題に対応するため、AI ソリューション事業の注力領域を「IP」「芸能」「メーカー」の 3 領域に定め、25 年以上の投稿監視で培った判断基準を AI に反映した 5 つの AI 監視ソリューションを、2026 年 10 月より順次提供開始いたします。

各ソリューションは、2026 年 10 月より先行導入企業の募集およびベータ版の提供を開始し、お客様との検証を経て順次正式提供へ移行いたします。機能・提供形態・価格の詳細は、個別のプレスリリースにて順次発表してまいります。



イー・ガーディアンは、投稿監視、本人確認、広告審査、ソーシャルリスニング、サイバーセキュリティなど、インターネットの安心・安全に関わるあらゆる課題をワンストップで支援する総合ネットセキュリティ企業です。1998 年の創業以来 25 年以上にわたって投稿監視を手がけ、現在は月間 2,000 万件以上の投稿を人の目で確認しながら、業界ごとに異なる「どこからがリスクか」という判断基準を蓄積してまいりました。2026 年 3 月には AI 戦略統括部を発足し、この判断基準を AI に引き継ぐ取り組みを本格化しています。

■背景：生成 AI・SNS がもたらした社会課題と、当社が取り組む理由**1. 被害の広がりが「企業の中」から「社会全体」へ**

当社は 25 年以上にわたりインターネットの安心・安全を守る投稿監視業務を行ってまいりました。近年の生成 AI の台頭と SNS の普及により、リスクは企業の自社サービス内にとどまらず、生活者やタレント個人が直接被害を受ける社会全体の問題へと拡大しています。実際に、総務省の違法・有害情報相談センターに寄せられた誹謗中傷を含む違法・有害情報の相談は令和 6 年度に 6,403 件※1、著名人の無断使用による広告が主な手口とされる「SNS 型投資詐欺」の被害額は令和 7 年に 1,288 億円（前年比約 1.5 倍）に達する※2 など、手作業や目視では追いつかない速度と規模で被害が深刻化しています。

※1 出典：総務省「令和 6 年度 インターネット上の違法・有害情報対応 相談業務等の請負 報告書」

※2 出典：警察庁「令和 7 年における特殊詐欺及び SNS 型投資・ロマンス詐欺の認知・検挙状況等について（確定値）」

このような状況を受け、当社は特に対応が急務となっている以下の 3 領域に向けた AI ソリューションの強化を決定いたしました。



- ・IP 領域：生成 AI によるキャラクター等の無断生成・酷似画像の拡散に加え、公式を装った偽アカウント・偽サイトによる消費者の詐欺被害。
- ・芸能領域：タレント個人の尊厳と心身の安全を脅かす SNS 上の誹謗中傷の過激化、生成 AI を用いた偽の加工コンテンツの流通。
- ・メーカー領域：販路拡大に伴う誤った商品情報の掲載増加や、不適切な広告表現による生活者の不利益・健康被害。

2. 25 年の監視知見が最も活きる「3 領域」へ資源を集中

当社は以下の 3 つの基準に基づき、「IP」「芸能」「メーカー」を最重点領域として選定し、開発・営業リソースを集中させます。

- ・課題の切実性：既存の手法では解決が難しく、社会的関心も高く、顧客からの要請が極めて強い。
- ・業界知見の蓄積：25 年以上の投稿監視・広告審査で蓄積した各業界の判断基準を、AI の学習・精度評価に活用できる。
- ・運用体制のシナジー：「AI×専門オペレーター」により、検知精度の向上と工数削減を両立できる。

■3 領域の社会課題に応える、5 つの AI ソリューション

注力領域	主な対象顧客	社会課題と提供する AI ソリューション概要
IP	ゲーム・アニメ・出版・音楽等のキャラクター・コンテンツを保有する権利者（IP ホルダー）	【IP 悪用検知】 課題：生成 AI の普及により、キャラクターやコンテンツが権利者の手の届かない場所で際限なく複製・変形・拡散されています。無断利用は権利者の損害にとどまらず、公式を装った偽アカウント・偽サイトによる消費者の詐欺被害にもつながっています。 ソリューション：SNS での無断利用や悪用を横断的に検知・可視化し被害の全体像を解明。対処方針の策定から常時モニタリングまで、IP を守る体制構築を支援します。
芸能	タレント・クリエイターが所属する芸能事務所、アーティストマネジメント会社	【誹謗中傷監視】 課題：SNS 上の誹謗中傷は瞬く間に拡散し、タレント個人の尊厳と心身の安全を脅かします。通報を受けてからの事後対応では、被害の拡大に間に合いません。 ソリューション：24 時間 365 日の AI 監視で、リスク投稿を瞬時に検知。証拠の保全から対応管理までを一元化し、タレントを迅速かつ確実に守れる対応を支援します。 【ライブ配信監視】 課題：ライブ配信では、炎上や権利侵害が生放送のまま拡散します。マネージャーが常時張り付いて確認する体制では、リスクの見落としと担当者の疲弊が避けられません。 ソリューション：AI×人の体制で、マネージャーに代わって配信を見守ります。リスク発生時は即時通知・共有し、必要な瞬間に迅速な判断を下せる体制をつくります。

メーカー	複数の販路で商品を展開するメーカー・PB事業者、化粧品・健康食品等の広告主	【広告表現審査】 課題： 広告表現の許容ラインは法令や市場動向で日々変化します。属人的な経験に依存した審査体制では見落としが生じ、生活者が不適切な表示に接するリスクが残ります。 ソリューション： 広告表現の最新トレンドを常にキャッチアップ。経験に依存しがちな広告表現の判断を、データに基づいた客観的な判断へとアップデートします。 【商品情報反映チェック】 課題： 販路が増えるほど、自社商品の情報が正しく掲載されているかを人の目で追いつけることは困難になります。誤った成分・価格・注意表示は、生活者の誤認や健康被害につながります。 ソリューション： 増え続ける販売ページを網羅的に巡回し情報の正誤を自動チェック。販路が拡大しても自社商品の情報が常に正しく保たれる運用基盤を確立します。
------	---------------------------------------	--

■AI 戦略統括部 統括責任者 コメント

山田 喬（やまだ たかし）

AI 戦略統括部 統括責任者／シニアディレクター



誹謗中傷やなりすまし、権利侵害は、もはや企業のサービス内で起きる問題ではなく、人の尊厳や生活者の財産が直接脅かされる社会課題になっています。私たちが25年かけて積み上げてきたのは、「どこからがリスクか」を業界ごとに見極める判断基準です。この判断基準が最も活きる3領域から、AIによる対応を始めます。

目指すのは、自社に関わる事象や言及を全量で把握し、対処すべきものを根拠を持って選べる状態を当たり前にすることです。監視とは、リスクを消すための作業ではなく、次の一手を根拠を持って選ぶための基盤だと考えています。AIと人の分業によって、監視と対処という守りはお客様に代わって担い、その先の判断はお客様とともに進めていきます。

■今後の展望

今回発表した5つのソリューションは、3領域への取り組みの出発点です。当社は中期経営計画においてAIソリューションの開発を重点テーマの一つに掲げています。生成AIとSNSがもたらした監視ニーズの広がりを次の成長機会と捉え、各領域のお客様が直面する課題を継続的にヒアリングしながら、新たなAIソリューションを順次投入してまいります。

あわせて、各領域で専門性を持つパートナー企業との連携を進めてまいります。当社の監視対応実績とパートナー企業の専門性を掛け合わせることで、お客様への提供価値をさらに高めるとともに、3領域における新たな価値の創出につなげていく考えです。

今後も、イー・ガーディアンは、専門性と質の高いサービスを提供し、ミッションである「We Guard All」の実現に向け、人々の生活をより便利に、豊かにするサービスの開発に尽力してまいります。

【イー・ガーディアングループ 概要】

1998 年設立。2016 年に東証一部上場。2022 年に東証プライム市場へ移行。イー・ガーディアンはネットパトロール、カスタマーサポート、デバッグ、脆弱性診断などネットセキュリティに関わるサービスを一通貫で提供する総合ネットセキュリティ企業です。センターは、提携先を含めてグループで国内 8 都市海外 3 都市 18 拠点の業界最大級の体制を誇ります。昨今は Fintech・IoT 業界への参入や AI・IT 活用による DX 推進、セキュリティ関連サービスの拡充など、時代を捉えるサービス開発に従事し、インターネットの安心・安全を守っております。

■イー・ガーディアン株式会社 会社概要

代表者 : 代表取締役社長 高谷 康久

所在地 : 東京都港区虎ノ門 1-2-8 虎ノ門琴平タワー8F

設立 : 1998 年 5 月

資本金 : 1,967 百万円 (2026 年 3 月末日現在)

業務内容 : ブログ・SNS・掲示板企画コンサルティング/リアルタイム投稿監視業務/ユーザーサポート業務/
オンラインゲームカスタマーサポート業務/コンプライアンス対策・風評・トレンド調査業務/
コミュニティサイト企画・サイト運営代行業務・広告審査代行サービス業務/人材派遣業

URL : <https://www.e-guardian.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

イー・ガーディアン株式会社 広報担当

TEL : 0120-665-046 E-mail : info@e-guardian.co.jp

(※注力 3 領域における最新のリスク動向・調査データ、事業責任者への取材は、随時お受けしております)